

第85号

令和6年3月1日発行

玉宮公民館だより

【発行責任者】 玉宮公民館長: 廣瀬 文武 主事: 廣瀬 政道

【俳句教室 1月】開催



令和6年1月28日(日) 午後1時30分より玉宮公民館に於いて【俳句教室 1月】が開催されました。令和5年度も4回目を数えました。

【俳句教室】を通じて、「俳句」の奥深さや会員のかたがたの想いが伝わってくる教室です。開催も残り2回(2月・3月)となりますが、玉宮地区のみなさんの参加をお待ちしております。今回の兼題は『凍つ(氷る)・山眠る・年玉(お年玉)』でした。※4月1号に会員のかたがたの「句」を、掲載させていただきます。

館長: 廣瀬 文武

主事: 廣瀬 政道

【童謡フェスティバル】4年ぶりの開催

《玉宮公民館》出場



甲州市生涯学習推進大会

第3部「童謡フェスティバル～ひびけ山河へみんなの歌声～」(合唱発表)が、令和6年2月17日(土)午後1時から、甲州市民文化会館 ホールにて開催されました。

当日は、甲州市内公民館10地区の参加がありました。

玉宮公民館からは、【深澤 晶子】先生をはじめ総勢約60名で(最大人数)、『にじ』を、童謡フェスティバルの一番手で熱唱していただきました。

練習からの参加協力で、大変ありがとうございました。《お疲れ様でした》

また、今回の童謡フェスティバル参加に伴いまして、玉宮地区の区長会をはじめ、各種団体のかたがたのご協力とご尽力に心より感謝申し上げます。

※掲載の写真: 上3枚は当日の様子・下3枚は練習の様子です。

尚、当日の写真撮影には大藤公民館のご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。



お知らせ

塩山北中学校は、令和7年4月より塩山中学校と統合します。半世紀以上続いてきた歴史もあと1年となりました。

塩山北中学校では合唱や吹奏楽の音楽活動に熱心に取り組んでいます。昨年9月には「第78回関東合唱コンクール中学校混声部門」において金賞を受賞しました。地域の皆さんも、がんばっている塩山北中学校の生徒の皆さんの歌声や演奏を、ぜひ聴いてみてください。入場には整理券が必要ですので、下記のパンフレットを参考に申し込みをしてください。



日時：令和6年3月31日（日）
13:00開場 / 13:30開演

会場：甲州市民文化会館 大ホール

入場：無料 ※入場は整理券が必要です。
右のQRコードまたは電話で
事前に申し込みをしてください。



特設ホームページ

ホームページは
順次更新します。
定期的に確認し
てください。

個人で申し込みだけ
でなく、申込者がご
家族・ご友人をまと
めて申し込むことも
できます。

申込フォーム



第1部 合唱部ステージ

- ・寂庵の祈り
(R5関東合唱コンクール金賞曲)
- ・歌
(R5関東合唱コンクール金賞曲)
- ・Chessboard
(R5NHK全国学校音楽コン
クール課題曲)

他



第2部 吹奏楽部ステージ

- ・ベガサスの夢
(R5吹奏楽コンクール課題曲)
- ・雅〜3人のマリリン演奏者のために〜
(打楽器3重奏)
- ・バラードフォートルバル
(サクソ4重奏)
- ・鳥之石楠船神
(R5吹奏楽コンクール自由曲)

他

第3部 オリジナルステージ

- ・僕らの「 」
(塩山北中オリジナルソング)
- ・青と夏
- ・365日の紙飛行機

★卒業生45名とのコラボ合唱

- ・みやこわすれ
- ・ほらね、
- ・塩山北中学校校歌

他

令和5年度塩山北中学校吹奏楽部&合唱部の歩み

- 第25回山梨ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞 (関東大会出場)
- 第29回西関東アンサンブルコンテスト・サクソフーン四重奏 銀賞
- 第29回西関東アンサンブルコンテスト・打楽器三重奏 銀賞
- 第47回山梨県アンサンブルコンテスト・サクソフーン四重奏 金賞
- 第47回山梨県アンサンブルコンテスト・打楽器三重奏 金賞
- 第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学生S部門 優秀賞
- 第29回西関東吹奏楽コンクール中学生部門Aの部 銀賞
- 第78回関東合唱コンクール中学校・混声部門 金賞
- 第76回山梨県合唱コンクール中学校・混声部門 金賞
- 第63回山梨県吹奏楽コンクール中学生部門Aの部 金賞

問い合わせ 塩山北中学校

☎ 0553-33-2737

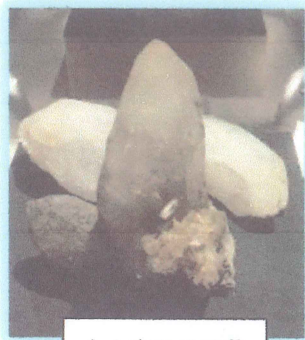
担当：水上、志村、三枝



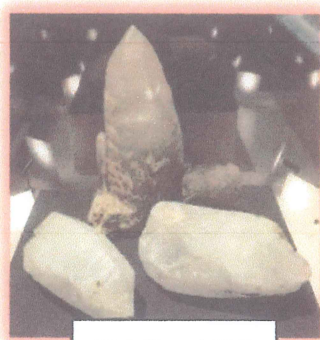
水晶の原石

2月1日に「釈迦堂遺跡博物館」に行ってきました。現在、企画展が開催されていて、縄文時代の様々な土器や土偶が展示されています。その中に玉宮の水晶山から採掘された大きな水晶の原石が展示されています。これは向山泰三さん、雨宮眞司さん、雨宮秀一さんが所蔵しているものです。私も初めて目にする大きさで高さが20cm前後のとても立派な原石です。5月27日まで企画展が開催されていますので、皆さんもぜひ足を運んで見ていただきたいと思います。一見の価値があります。

玉宮の乙木田遺跡は、平成元年から2年間、山梨大学考古学研究会が水晶加工集落研究の調査を行っています。その結果、縄文時代中期の石器加工住居跡1軒、竪穴住居跡4軒、土坑2基のほか、弥生時代末から古墳時代前期の住居跡1軒が発掘されています。



向山泰三氏所蔵



雨宮秀一氏所蔵



雨宮眞司氏所蔵

お天狗さん

2月4日に「お天狗さん」に登りました。お天狗さんは金剛院の奥の院で、扇山の中腹にあります。松里歴史研究会の皆さんから、「くろぼっさん」について、一緒に登って、現地を見て情報交換をしたいという要請に、塩山郷土研究会玉宮支部の皆さんが応えたものです。私にも声がかかりましたので同行させていただきました。

「くろぼっさん」については、昨年12月に開催した「むかしがたりの会」で藤巻愛子さんに話をさせていただきました。

1582年に恵林寺が織田信長の焼き討ちを受け、三門楼上で70余人が焼死しました。この時に1人の僧が舞い上がり、北に見える扇山の山頂に降りたということです。これは天狗の化身であると人々から崇められ、その場所に黒法師として祠に祀られたと伝えられています。その後、竹森地域の人々と藤木地域の人々が話し合っって両地域に祠を移しました。竹森の地域では現在の金剛院の奥の院に移して「黒法師大天狗」として、毎年1月21日に祭礼をおこなっています。（公民館長より）

